

言葉・言霊への関心が高まりつつあります

今日、「言葉」、「言霊」というものが、スピリチュアルの世界に関心を持つ人々の間で脚光を浴びてきているようです。人々はコトバの使い方の善し悪しによって、人の幸不幸が大きく左右されることに気づき始めてきたからです。

良い言葉を使えばハッピーな道が開かれる

事実、一昔前、ハワイに端を発する「ホ・オノポノポ」の言葉を唱えたり、日本語の「ありがとう」「感謝します」「大丈夫」「健康だ」「愛しています」などの良い言葉を繰り返し話すことによって心身ともに明るくなってゆく……。銀座まるかんの社長・斉藤一人氏の「天国の言葉を使う」とハッピーな人生が開かれる……。さらに水の研究者・故江本勝氏の論文で、良い言葉・悪い言葉により作り出される水の結晶がまるつきり違うものが出来てくる実験データの発表などなどにより、言葉の力、言葉のエネルギーが大きくクローズアップされてきているようです。

言葉は波動、全てのもも波動の化身です

人々は言葉の持つパワー、コトバの持つ深遠な力に目覚め出してきているのです。しかし、その多くは皮相的なものでありコトバや文字の本質を掴んでいる人は殆ど無いように思われます。

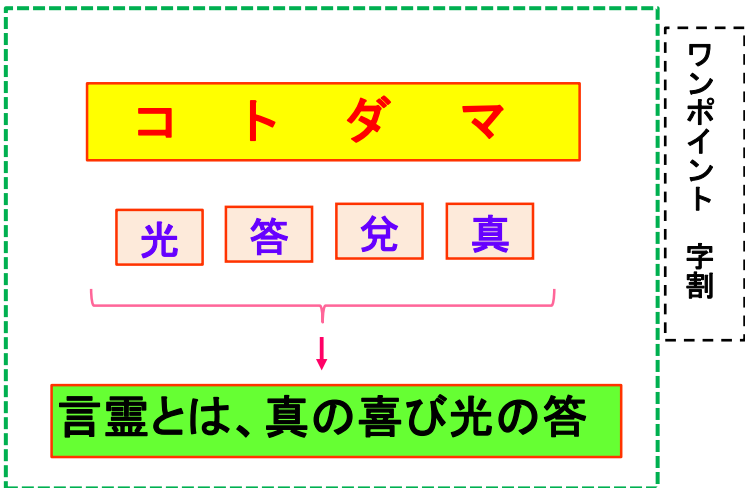
言葉は音、音は波動です。そして現代科学の見解でも「全てのは波動によって成り立っている」の立場をとっています。ですから「言葉」と「あらゆるもの」の間には、波動の法則が働いて共振共鳴現象が起きたり、干渉現象が起きてくることは明らかであります。同調波長の法則・引き寄せの法則が働くのです。言葉の良し悪しや言葉の使い方の良し悪しによって、人の運命や健康に大きく影響してゆくようになるのです。

光透波は言葉の真髄、そこに幸せの道が……

そのような中で今日、知る人ぞ知る新時代の言霊学・光透波(こうとうは)に大きな注目と関心が持たれようとしています。光透波＝コトバとも読むことも出来ます。コトバ・言葉・言霊の根源的なエネルギーに通じるコトバが「光」の「透」明な「波」動、即ち「光透波」なのです。

では、その光透波とはどのようなものなのでしょう？本誌の3頁・4頁で紹介している各地で開催する光透波セミナーや講座で、その言葉の真髄を学ぶことが出来ます。人の運命を明るくする光の言葉や、宇宙の真理探究にご関心のある方は、奮って参加されますようご案内いたします。

文責・宿谷



命波の會圖

連載 — 3

[前号から続く]

小田野早秋先生が名古屋へ命波理論を携えて来られました。

その命波理論は先生ご自身の性格からも幾何学がお好きで数理的思考で日常の生活の中で閃いた言に何々と追求されていました。それを受けるように数々の啓示や不思議な霊的な体験を重ねた命波理論の骨子でも在ります天鏡図作成への動機付けとなっています数々の天の啓示とその経緯を綴らせて頂きます。

新装版「言霊・光透波の世界」 宿谷・磯部共著 ヒカルランド 全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。
定 価 2000円 + 消費税 光透波の会・宿谷までお申し込みの方は消費カット

小田野早秧先生のお母様への情にも劣らぬほど深く敬愛されていた最愛なるお父様と41歳の時お別れされたのです。お父様は関節リウマチを患って病床に臥しておられました。昭和23年12月22日から21日間、先生は不眠不休に近い看病をされました。その間、幾たびもお父様が痛いという箇所先生が手を当てると楽になられ、お父様から「お前の手は菩薩か」と言われたそうです。

そして昭和24年1月11日、それまで食欲が無かったお父様が珍しく「ご飯と豆腐料理を作ってくれ」と言われ嬉しくてお出ししたそうです。体力も衰えておられたお父様ですが、美味そうに少し食べた後、「疲れた」と言われて横になられたそうです。

暫くしてお父様は娘の小田野先生やご姉妹に「二時間後に逝くからな」と言い、連絡すべき人の指定から、脈の取り方や瞳孔の調べ方まで指示されて、予告通り二時間後の夜の8時48分に逝去されました。

不思議な黄金の霧、絶対光に包まれる現象が

友引もあって姉妹関係者は一旦帰宅して葬儀前の13日の夜の12時過ぎ、一人で二階の部屋の父親の棺の前で改めて父の告別をしていた際、ふと思いついたことが、以前に国勢調査があった時に、その書類の扶養者欄に父の名を書いてしまったことでした。父在ればこそ自分は生きてこられた深い情愛の親子の関係は太陽と水と微粒子の関係を思いつき、それほど深い親子の絆の本質に気付かず「扶養者」と記してしまった……、申し訳なく、この償いはどうしたらよいのだろう……と絶望していた時、「そうだ絶対の闇に生きて償おう」と先生は思われました。その瞬間、棺の前の部屋一面が「黄金の光の霧」の空間に一転して、目の前は何も見えず光の粒子の中に浮かんでいました。

絶対の闇から反転して先生の思いとは裏腹に無上の喜びが湧き起こり、ナイアガラの滝の様に涙がこみ上げ、4～5時間絶対光の中に入られながら、好奇心旺盛な先生は今体験している現実の現象をしっかりと確かめられました。後に黄金の光の霧の体験から「絶対光」と命名。

黄金の霧の中で手を振っても皮膚の温度差を感じない、それは命の温度(中温36度)と後に定められました。また空気の匂いを嗅ぎ、舌を出して桃の香りを味わう、正に桃源郷であることを感性で確かめられたのです。又、顔中に光の粒がべちょっと優しく張り付き部屋一面光の霧に入られた感触を、私達兄妹にあの光は「べた光」と命名されていました。

やがて、その不思議な黄金の霧の現象は段々と薄らいでゆき、それに伴って身体は無重力状態であったのが徐々にずしっと重くなって戻ってゆくのに気づかれました。

どんどんと閃きが起きて命波理論が緻密に

先生はこの40年間経験したことのないリアルな光の体験から、そうだ「第二のリアル」と名付けようと思われた。この絶対光の体験こそ今まで目に確かめようも無い抽象の「絶対」の存在をリアルに体験した出来事であると感じ取った小田野先生は、これを契機に天から与えられたご使命、絶対性原理の究明に邁進されることになったのです。

これを皮切りに昭和27年夏頃、中公路さんという皇文化の研究者の方から、先生は「三」に気を付けるように、そして頭に閃いた言をメモする様にと言われたそうです。その直後に中小路さんと別れて数分後、先生は勝手口から下駄を脱ぐ途中で「時は父・空は母」と閃いたのです。「あっこれかな」と思われた。その後どんどん閃きが起き命波理論の内容が緻密になっていったのです。

この経緯によって小田野先生は逝去されるちょっと前まで日記を詳細に書き、何時何分、何処で何があったかを詞(字)と数を大切に書き綴られました。

「命波学教本」 堀尾泉實著 命波学＝光透波理論習得の必読のテキストです。定価2500円

ご希望の方は、**實光透波研究会** 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾 君子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp 090-8499-5989まで

先生は20代後半から30代の12年間、民俗学・国文学で著名な折口信夫氏(おりぐちしのぶ)の和歌、古代史研究、民俗学の聴講生でした。それで先生の日記の冒頭には和歌が1首か2首その時の感性で記されていました。今、この日記をどなたかが保管されていると思いますが、その和歌を纏めれば小田野早秧先生の卓越した和歌集に成るでしょうね。

そして閃きの連続から「何とは何と」の元来の先生の追求心が、答えとなる啓示を誘導され、命波への導きを受けられてゆきました。

「光」「透」「波」の文字が顔に飛び込む霊現象が起きる

昭和28年の梅雨の頃、部屋の隅から「光」・「透」・「波」と一字一音が顔いっぱい白い球が音と共に顔にめがけて飛び込んでくる不思議な霊現象が起き、その瞬間、先生はコ「光」、ト「透」、ハ「波」と声を出され耳の奥で記憶されました。日頃、何々と追求心で探究されながら一体全体、「何とは何」と求めていた矢先に光・透・波の啓示を受けて「何とはコトハ(言葉)だったのだ」と気付かれた。と同時に全身の細胞が一挙に興奮した感覚になり、それを静めるのに部屋の中をぐるぐる駆け巡る……、感覚的に10里ぐらい駆けてやっと落ち着いたそうです。梅雨の頃なので畳の部屋はカビが生えていたのか、足の裏は墨汁を塗ったような有様になっていたとのことです。

まずは部屋のカビを拭きながら、「コトハ」、「コトハ」、「面白いなあこりゃ」と拭き終わり、改めて透明の透の字に着目されました。「透」は秀でた走りと考え、プロペラだって回り出したら速度が上がって見えなくなっちゃうでしょ。色々と考えて何々とは言葉で問い、その元は「光透波の詞」であることが段々と後になって分かって来ることになったのです。孤軍奮闘、先生は心身共に深い感性を体得され大変なご使命を持たれていたのです。

(つづく) 堀尾君子

10月 光透波セミナーのご案内

● 「諏訪 光透波講座」 (第1回)

- 日 時 10月8日(土) 第1部 PM 1:00~PM3:00 第2部 PM 4:00~PM6:00
- 場 所 神州の龍神 喫茶室 長野市諏訪市中洲1362 090-4181-5310
- 演 題 第1部「音は神。龍は神の化身」 第2部「人類の最初の種は諏訪に降ろされた」
- 講 師 宿谷直晃 ●参加費 1部・2部 各3,000円 (コーヒー、軽食付)

● 「ワクワク光透波塾」 (第136回 光透波セミナー)

- 日 時 10月24日(月) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「文字で学ぶ人生の生き方」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分
- 講 師 宿谷直晃 ●参加費 3,000円

● Zoom入門講座 隔週火曜日

- 10月12日(水) PM 8:00~PM10:00 「⑨平和のお話」
- 10月25日(火) PM 8:00~PM10:00 「⑩天鏡図のお話」

- 講 師 宿谷直晃 ●参加費 3000円

※Zoom 講座の申し込み先

syu98-8do8@mbr.nifty.com

090-2447-2037

● 名古屋 命波学講座

- 日 時 10月 8日(土) PM 1:00~PM4:00 和やか会
- 日 時 10月18日(火) PM 3:00~PM6:00 和やか会
- 日 時 10月20日(木) PM 1:00~PM4:00 和やか会
- 日 時 10月28日(金) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第6回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※命波学受講希望の方は、日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

● 名古屋 光透波塾

- 10月 2日(日) AM 10:00~PM1:00 熱田神宮参拝と光透波講座。 「文字の次元で吾を点検します」
- 10月 9日(日) AM 10:00~PM1:00 熱田神宮参拝と光透波講座。 「神と生命エネルギーの関係」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

● Z o o m字割実践講座 午前の部 隔週月曜日

- 10月 3日(月) AM10:00~PM 0:00 「ア行 カ行の吟味 認識革命」
- 10月17日(月) AM10:00~PM 0:00 「サ行 タ行の吟味 四次元思考」

● Z o o m字割実践講座 夜間の部 隔週月曜日

- 10月 3日(月) PM10:00~PM 11:00 「ナ行 ハ行の吟味 人間存在の意味」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 ドネーション

● Z o o m個人レッスン (初回無料)

- 予約制 あなたの都合よい時間に受けられます。 一対一の対話形式で生活に密着した光透波講座です。文字の言霊により、本当の自分発見を目指します。 数回受講で天鏡図が取得できます。
- 参加費 3,000円/1時間 ※ご連絡いただければ、IDとパスワードを送ります。

※事前予約必要 isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

● 明 石 第16回 日本語セミナー

- 日 時 10月29日(土) AM10:00~PM 0:00
- 場 所 アスピア明石
- 演 題 「激動の時代を楽しく生きてゆくため」
- 講 師 林和也 ●参加費 2000円
- 講座の申し込み先 090-9118-7614 (林まで)

光透波の会

實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾君子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯部賢一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
光透波ワクワク塾	東京都品川区小山6-19-5	宿谷直晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
光透波・言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林和也
		090-9118-7614

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>